

## 学生FDスタッフ・学生FDプロジェクトについて

教育開発・学習支援センターでは、FD（Faculty Development）を「“自由と進歩”の建学の精神に基づく教育理念と教育目標を達成するためになされる、教育および学びの質の向上を目的とした教員・職員・学生による組織的・継続的な取り組み」と定義し、様々な活動を展開しています。

また、学生FDスタッフは学生・教員・職員の間の架け橋となり、学生の声をきちんと教職員に伝えることを目的に活動しており、大学教育・学生生活を主体性のあふれる充実したものにしていくための取り組みを行っています。教育開発・学習支援センターでは、FDスタッフにとどまらず、広く学生からの意見を取り入れるための学生FDプロジェクトを2023年度より実施しています。

### 2025年度イベント開催報告

今年度の学生FDプロジェクトは「皆さんの意見を大学へ伝えてみませんか！－居心地の良い学びのために－」と題して、①学びの環境について、②キャンパス・学部・正課を越えた学びについて、③学修成果可視化システム（Halo）の活用についての3つのテーマを中心に、学生FDスタッフやピアネット団体の学生スタッフを対象に実施しました。また、内容を充実させるため、学生にはテーマに沿った事前アンケートを実施し、当日のインタビューでは、所属キャンパスごとにグループに分かれて、ファシリテーターの教員のもと、率直な意見を伺いました。

キャンパス・所属学部・学年・活動経験の異なる学生が参加し、参加者からは日頃の学生生活に基づく意見が出され、教職員にとっても新たな発見や気づきを得る機会となりました。

参加者から寄せられた貴重な意見は、本学におけるFD活動の推進に活かしていきます。

#### <実施詳細>

2025年11月14日（金）13:20～14:50 Zoom開催 参加者9名

### イベント詳細報告

参加学生9名から出た意見を抜粋してお届けいたします。

当日は、以下の教員3名がファシリテーターを担当し、それぞれキャンパスごとに3グループに分かれてインタビューを実施しました。

#### <インタビューアー>

市ヶ谷キャンパスグループ：油本真理（法学部教授／教育開発・学習支援センター 学習サポートユニットメンバー）

多摩キャンパスグループ：荒井弘和（文学部教授／教育開発・学習支援センター 学習サポートユニットリーダー）

小金井キャンパスグループ：秋野喜彦（情報科学部教授／教育開発・学習支援センター 教育サポートユニットリーダー）

#### ■学生から出た意見（抜粋）

- （1）学習スペースの充実度について（図書館、ラウンジ、自習室などの学習スペースの使いやすさ、利用状況、環境の整備状況）
  - ・（市ヶ谷）学内にフリースペースが多くあり、一人で集中したい時、大人数でグループワークを行いたい時等、用途に合わせて使い分けている。空き教室を使うにあたって、全教室の使用状況がわかれば、掲示してほしい。
  - ・（多摩）図書館と自習室について、静かで満員になることがなく、集中して学習できる。グループ学習できるスペースがもっとほしい。
  - ・（小金井）図書館のアクティブラーニングスペースがもっとほしい。空き教室について、もう少し簡単に借りられるとよい。
- （2）ITインフラの充実度について（Wi-Fiの品質と接続の安定性、学習支援システム（LMS）の使いやすさ、学内PCの充実度等）
  - ・（共通）今年度から使用しているHoppiiおよびLMSの使い勝手について、不満を感じる。例えば、授業情報の確認、教材ダウンロードにかなり時間を要するほか、履修科目について教員からのお知らせがどこに掲載されているのかを探すのに手間がかかり、困っている。
  - ・（小金井）Wi-Fiを改善してほしい。場所を選べば問題なくつながるが、どの場所でも均一につながるようにしてほしい。
- （3）学部を横断するプログラムについて
  - ・（市ヶ谷）他学部公開科目について、Webシラバスをどのように探せば良いのか手間取った。
  - ・（多摩）データサイエンス科目について、教材の設置場所が、オンデマンドシステム、学習支援システム、あるいは両方等、統一されていない点は使いにくいと感じた。また、数学など理系の科目のラインナップがやや物足りないと感じる。
  - ・（小金井）市ヶ谷で英語強化プログラムを受講しましたが、普段関わらない学部の人と関わって楽しかったです。
- （4）学修成果可視化システム（Halo）について
  - ・（市ヶ谷）成績の経年変化やGPAの推移が1年生から確認できるのは便利だと思った。一方で、確認の頻度はあまり高くなく、周りの友人でも、利用しているという声はあまり聞かない。
  - ・（多摩）成績を確認するために年に4回程度見ている（学期終わり等）。成績通知書よりもわかりやすく、自分の成績が大学DPとどのように結びついているか確認でき、どのような力が身に付いたのかのかがわかりやすい。就活にも使えるかもしれない。
  - ・（小金井）成績通知書よりもわかりやすく、勉強のモチベーションにつながっている。一方で、Haloの存在を知らない学生が多く、もっと周知してもいいと思う。

**皆さんの意見を  
大学へ伝えてみませんか！  
－居心地の良い学びのために－**

**参加者募集**

日時	2025年11月14日（金）13:20～14:50
実施方法	オンライン（Zoom）
目的	学生の皆さんの意見聴取の場を設け、全学的な教育の質向上の推進に活かすことを目的に実施します。
対象	ピアネット学生スタッフ ※学修成果可視化システム（Halo）を使用したことがある方推奨（使用経験がない方も歓迎！）
実施内容	以下の3テーマについて、グループインタビュー形式で率直なご意見を伺います。（10分程度の事前アンケート有り） ① 学びの環境について ② キャンパス・学部・正課を越えた学びについて ③ 学修成果可視化システム（Halo）の活用について
募集人数	10名程度 ※応募者多数の場合、これまでの学内の活動履歴等をもとに採用者を決定します。
謝礼	ギフトカード3,000円分
申込フォーム	法政大学Gmailにログインのうえ、 下記URLまたは右のQRコードにアクセスして お申し込みください。 ※日時・実施方法を必ず確認してください。 URL：https://short.hosei.ac.jp/hddzd
申込期限	2025年10月31日（金） 17:00まで

【お問い合わせ】  
教育開発・学習支援センター  
学習サポートユニット  
E-mail: fds@ml.hosei.ac.jp